

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

歴史を活かしたまちづくり推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

益田市

### 3 地域再生計画の区域

益田市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、「歌聖」柿本人麿の“古代”、中世領主 益田氏と「画聖」雪舟の“中世”、第2次長州征討（四境戦争）石州口の戦いの“幕末”など、豊かな歴史を有している。それを裏付ける史跡、神社・仏閣、景観、そして古文書（※）など歴史的・文化的資源に恵まれているが、これまで保存に重点がおかれていたため、観光入込客数は微増傾向にあるものの、観光やまちづくりに活かしていない状況である。

また、平成27年度に実施したインターネットによるアンケート調査（カスタマーニーズ調査）では、本市に旅行したことが無い理由として52%が「益田市の存在を知らない」と回答した。本市は山口県と広島県の県境に位置し、周辺には出雲大社や石見銀山、津和野町、萩市など集客力のある観光地があるが、通過点となっており、広域周遊観光ルートに含まれていない。地理的な優位性を活かし広域周遊観光を促進するためには、観光地としての知名度向上と魅力増進が課題である。

そこで、歴史を活かした新たな観光商品の開発やブランディング等の取組を官民協働で実施し、本市の観光地としての魅力増進及び近隣自治体との連携による周辺観光客の本市への周遊促進により、交流人口を拡大させる。特に山口県が平成30年に明治維新150年を迎えることから大型観光キャンペーンを展開しており、周遊観光客を誘致する好機である。さらに段階的に観光協会を主体とする民間主導の取組へ移行することにより、地域の稼ぐ力の充実を図る。

一方、本市は高齢化と若者の転出による人口減少が続いており、観光関連産業の振興による地域の雇用を増加させる取組と共に、若者の地元への愛着を育て、定住化を促進する取組が必要である。そのため、今後のまちづくりの指針・将来像と位置付ける「歴史文化基本構想」を策定し、地域固有の歴史や文化を明らかにしその魅力に光を当てることで、「魅力あるストーリー

一」(個々の文化財や史跡を関連づけて語る物語性)を創出、地域への愛着の醸成、若者の定住を促進し、まちの活力を向上させる。

(※) 益田家文書は、益田家に伝来したおよそ1万点あまりの武家文書で、西国土着の武士団の文書としてこれだけ残っているのは全国的にも例が無いと言われている(このうち、約6,500点は東京大学史料編纂所に所蔵されている)。また、現在の益田市には益田家の城・七尾城、館・三宅御土居跡、港町の史跡・中須東原遺跡や、縁の深い神社仏閣などがそろって残り、中世の様子を全国随一と言えるほどよく伝えている。

### 【数値目標】

事業	歴史・文化を活かした交流拡大事業			年月
	KPI 観光入込客数	歴史企画展 入込者数	ライトアップイベント・ ウィーク入込者数	
申請時	983,772人	—人	—人	H28.3
初年度	990,000人	8,500人	1,500人	H30.3
2年目	995,000人	3,000人	2,000人	H31.3
3年目	1,000,000人	3,000人	2,000人	H32.3

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

交流人口の拡大及び観光関連産業のしごとの創生を図るとともに、地域への愛着の醸成による定住の促進を目指すため、歴史・文化を活かした交流拡大事業及び歴史を活かしたまちづくり推進事業を実施する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

(1) 事業名：歴史・文化を活かした交流拡大事業

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

益田市の観光地としての魅力増進のための取組や、地域資源を活かした企画展の開催、近隣自治体を訪問する観光客の周遊促進の取組を通じ

て、交流人口の拡大及び観光関連産業のしごとの創生を図る。

**(事業の内容)**

- ・観光地としての魅力増進のための取組

県立万葉公園の園路に竹灯籠を設置し、園内を幻想的な雰囲気であらすライトアップイベント「万葉竹灯籠」の委託実施、及び万葉竹灯籠にあわせてその他の集客施設（萬福寺ほか）においても10日間程度ライトアップイベントを集中実施するライトアップウィークを展開（委託）する。

史跡群を巡るまちあるき観光のための観光音声ガイドサービス（H28導入）の利用状況を踏まえ、スマホアプリを導入する。

益田市の豊かな歴史・文化を活かした観光商品の造成及びブラッシュアップに資する取組を実施する民間団体に補助金（最高30万円）を交付し、観光商品の充実を図る。

- ・地域資源を活かした企画展の開催

市・県・東京大学史料編纂所による共同研究「石見の中世領主の盛衰と東アジア海域世界」の成果発表展等、益田市の歴史・文化に関する企画展を開催する。

実施主体：島根県古代文化センター、島根県立石見美術館、益田市、益田市教育委員会

- ・近隣自治体を訪問する観光客の益田市への周遊促進のための取組

旅行会社に対し、首都圏で開催される観光情報説明会等に参加するなどして、特にライトアップ期間や企画展の開催期間中を対象とした旅行商品の造成を働きかける。

**(各年度の事業の内容)**

年度	実施時期	事業内容
H29年度	8月	・ライトアップイベント「万葉竹灯籠」の開催
	9月30日 ～ 11月13日	・市・県・東京大学史料編纂所による共同研究成果発表展の開催 タイトル：「石見の戦国武将」展 開催期間：平成29年9月30日～11月13日（45日間） 開催場所：島根県芸術文化センター「グラントワ」
	通年	・観光商品の造成支援・働きかけ

H30 年度	8月	・ライトアップウィークの展開
	秋頃	・歴史企画展の開催
	通年	・観光商品の造成支援・働きかけ
H31 年度	8月	・ライトアップウィークの展開
	秋頃	・歴史企画展の開催
	12月	・まちあるき観光のためのスマホアプリ導入
	通年	・観光商品の造成支援・働きかけ

#### (4) 地方版総合戦略における位置づけ

本市の総合戦略の基本目標「定住の基盤となるしごとをつくる」の推進施策として地域資源を活かした観光振興、特に、益田市の固有の歴史・文化を活かした交流人口の拡大を図ることとしており、本事業は本市の歴史文化資源の魅力を生かして市内外へ効果的に伝え、交流人口の増加に寄与するものである。

重要業績評価指標 (KPI)

- ・観光入込客数 100万人 (H31年)
- ・歴史企画展入込者数 3回 2万人 (H27～H31年度)

注) 歴史企画展入込者数には歴史企画展3回の入込者数に加え、ライトアップイベント・ウィーク入込者数も含むものとする

#### (5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (KPI (重要業績評価指標))

事業	歴史・文化を活かした交流拡大事業			年月
KPI	観光入込客数	歴史企画展 入込者数	ライトアップイベント・ ウィーク入込者数	
申請時	983,772人	0人	0人	H28.3
初年度	990,000人	8,500人	1,500人	H30.3
2年目	995,000人	3,000人	2,000人	H31.3
3年目	1,000,000人	3,000人	2,000人	H32.3

#### (6) 事業費

(単位：千円)

	年 度	H29	H30	H31	計
	事業費計	3,122	3,210	3,210	9,542
区分	旅費	355	350	350	1,055
	需用費	277	200	200	677
	役務費	130	130	130	390

	委託料	1,650	1,820	1,820	5,290
	使用料及び賃借料	10	10	10	30
	負担金補助及び交付金	700	700	700	2,100

**(7) 申請時点での寄附の見込み**

年度	H29	H30	H31	計
法人名	阪神食品株式会社	阪神食品株式会社	阪神食品株式会社	—
見込み額(千円)	1,500	1,500	1,500	4,500

**(8) 事業の評価の方法(PDCAサイクル)**

**(評価の方法)**

外部委員で構成する総合戦略審議会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。

**(評価の時期・内容)**

決算数値が確定後の7月に外部有識者(総合戦略審議会委員)による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

**(公表の方法)**

目標の達成状況及び検証結果については、毎年度検証後速やかに益田市公式WEBサイト上で公表する。

**(9) 事業期間：平成29年4月～平成32年3月**

**5-3 その他の事業**

**5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置**

該当なし

**5-3-2 支援措置によらない独自の取組**

**(1) 事業名：歴史を活かしたまちづくり推進事業**

・事業概要：今後のまちづくりの指針・将来像と位置付ける「歴史

文化基本構想」を策定することにより、地域への愛着を醸成し若者の定住を促進し、まちの活力を向上させる。

- ・実施主体：益田市
- ・事業期間：平成29年度～平成31年度

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

外部委員で構成する総合戦略審議会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

決算数値が確定後の7月に外部有識者（総合戦略審議会委員）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況及び検証結果については、毎年度検証後速やかに益田市公式WEBサイト上で公表する。